

## 令和5年度 南丹市立胡麻郷小学校 学校園経営計画(スクールマネジメントプラン)

学校教育目標	学校の現状分析		学校経営方針(中期経営目標)	
<p>〈学校教育目標〉 ふるさとを愛し、夢と希望をもち 学び続ける児童の育成</p> <p>〈目指す児童像〉 ふるさと胡麻に愛着をもって 自ら学ぼうとする胡麻っ子</p>	<p>○児童は、何事にも前向きに取り組もうとする向上心がある。また、粘り強く取り組む児童も多い。児童同士醸成しつつある互いを思いやる優しい気持ちを土台に、更に自己肯定感の高まる取組を全教育活動を通して推進していく。</p> <p>○指導者は、若手教職員が多く、各自の指導力向上とともに、学校組織体制の中で人材育成を目指す。</p> <p>○地域とともにある学校づくりをより一層推進するとともに、地域社会に開かれた教育課程の確立へ向け、地域道德及び親子道德の取組を生かしながら、地域・保護者・関係機関との協働体制のさらなる充実を目指す。</p>		<p>○人権教育の推進 人権教育を基盤として、人との関わり合いを深め、日々の授業を通して、一人一人のよさを生かし、支え合い高まり合う教育活動を推進する。そのための、教職員研修に取り組む。</p> <p>○学力向上と指導力向上 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を大切に、ICT活用を生かした授業改善を進め、児童のコミュニケーション力や非認知能力を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。</p> <p>○家庭・地域との連携・「考え、議論する道德」の推進 「ごまっ子宣言」で共有した児童像実現を目指し、地域社会総がかりの教育を進め、学校運営協議会とともに大人も子どもとともに道德的実践力のさらなる向上を図ることのできる道德教育に取り組む。</p>	
学校園経営の重点(短期経営目標)	成果	評価	課題	改善策等
<p>・一人一人の児童の人権が徹底して大切にされ、個々の自尊感情を高める学級経営 【「自分のよいところを知っている」「友達のよいところを知っている」と児童90%以上】</p> <p>・教職員の人権教育に関する実践力・指導力向上に向け、校内研修の推進 【校内及びその他の人権研修により、「人権教育における今日的課題や認識を深めることができた」と答える教職員100%】</p>				
<p>・日常の観察と年3回のいじめアンケート・個別面談の実施等による徹底した実態把握と早期解決 【アンケートと聞き取りによるいじめ解消率100%】</p>				
<p>・ICTを活用し、胡麻郷スタンダードに基づく児童が主体的、対話的に学べる授業づくり 【胡麻郷スタンダードチェック表 教員平均得点80%以上、「学校は自ら進んで学習する子どもを育てている」「自分の考えや思いをつたえられる子どもを育てている」と答える保護者80%以上】</p>				
<p>・地域道德・親子道德等、社会に開かれた教育課程の創造と地域総がかりの教育の具現化 【学校が「地域とともに、学びを進めている」と答える保護者90%以上】</p>				